滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 特別廣告 一ケ月以內銀四十錢 半月以上一ケ月以內銀十五仙乃至十仙
長期連揭減價面議

發行所 淸國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

紅糧價鐵五吊四百文至五吊
市共上車三十餘輛
麥共來老十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙 一連 一圓
一フールスカップ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一寒紙 四十枚綴 十四錢

一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一寶筒 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一縞毛布 一枚モノ 四圓以上六圓五十錢
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

特別廣告

告示

一本年二月より六月に至たる牛營間土地貸下料未納者にして七月十五日迄に尙納付せさるものは其土地の貸下を廢除す

明治三十九年六月二十六日

營口軍政官 與倉喜平

公告

電話交換手募集

當局電話交換手を募集す志願の者は(滿十六年以上二十五年迄にして高等小學卒業若しくは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人に限る)志願書に自筆の履歷書を添へ携帶出願すへし

明治三十九年六月

營口軍政署電話局

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

●立神丸 七月六日午前營口出帆 太沽、芝罘、長崎 神戶、門司行

大連出帆

●橫濱丸 七月六日 大連出帆 門司 神戶行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告

●能登丸 七月四日入港

代理店 東營口公園地橫 ブッシュ兄弟商會 遠來洋行 (電話二十三番)

瀛船出帆廣告

●日海丸 七月六日 門司 四日市行
●鷹取丸 七月八日 門司行
●万成源丸 龍口登州府定期
●中國丸 仝

松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話(五二五七)

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

橫濱正金銀行牛莊支店

本支店出張所 橫濱 神戶 東京 長崎 大阪 倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 漢口 天津 北京 大連 旅順 奉天 遼陽 芝罘 鐵嶺

(第十番 支配人室)(第百八番 事務室)

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子緞布手巾花巾洋䌷火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至

總司理人 田中賴之助謹白

開設老爺閣街同盛德院內 電話(店一八三番 住所五五番)

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運學宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜倘蒙賜有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

總號油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正經事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致誤

本主人敬啓

仁裕號

係號運各幫火輪船生意兼賣各種洋什貨 煤石等此佈

營口西大廟街路北營乙第十三號

志岐組

本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸

本主人謹白

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許數運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明保賬中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街 東櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西櫃(電話九十八番)

志岐組木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議 願請到本棧

SP 糸平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今特自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣(正日光)皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告

朝日ビール特約大販賣

營口元神廟街元神廟南邊路西 (電話一百九十二号)

三井

電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候

(電話百二十八号)

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米、

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津 上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙王鹿芹朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦 諸貴商所樂聞乎如蒙 賜顧請逕至大德亨內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已 諸公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行

電話 第六十六號 第九十一號

飯塚工程局材料部

營口元神廟前 (電話百三十五番)

驛局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

營口 承文信記書坊

現應西大街粵東會館新阜豐棧內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙 十商賜顧書價照批發格外克已不悞

本號主人 謹白

㊄ 鐵道遼河 裕和盛運輸局

(電話八十一號)

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具洋烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

丸重轉運行

啓者 本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站均設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面議是荷

營口西北街(電話十八號)
既設分局 牛家屯車站(電話四十六號) 遼陽、奉天、昌圖各車站

銃砲火藥 軍刀販賣業

本行蒙 官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也

營口元神廟街第十號

官許商 武田洋行

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉

光顧者請至營口永世街

第五號、門牌便是

青堆子 菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白

本主人謹白

●森醫院

營口永世街

院長醫學得業士 森 矯

●齒科部

主任齒科醫士 兒島市郎

啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之溢濁面貌爲之失形況疾患罹於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀轉輾反側主爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奧巧技入神齲齒凹窩則須薙去疼痛而後塡塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲入齒株無殘根者則以護模製之座床列植義齒其他或截齒頭以金冠或欲入義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不受有齒患矣然中國醫界之風潮尚未從達治齒之術措而不問殊爲憾事本院主引爲已憂測然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇摯其術極巧其價極廉以期普遍救治並發揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

遼河鐵道 同濟公司

本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請㑹本號面議特仰週知

營口南永世街 同濟公司總局
馬蜂溝 同濟公司分局
營守屯 同濟公司分局
通江子 同濟公司分局

東京電報

●關東洲の司法制度　關東洲に於ける司法機關に付ては二審制度を採用することに決定せり（六月三十日午后一時二十分發電）

（記者曰本電報は著局違の爲め遲着したるものなり）

遼陽電報

●福島少將一行（三日午前十一時發電）　福島次長山座政務局長の一行は今朝來着せり

雜報

●英露協商の內容　英京外務省が機關紙スタンダードを以て暗示せる英露協商の內容は左の如し

一、ゴレムキン內閣の成立は英露妥協問題の解決を速かならしむるに有利なるの事實あり
一、露國は波斯灣に一港を求むべき望みと、同領域に一商業的鐵道の布設を爲さんとする望みとを廢棄せり
一、彼斯は南北兩區に分ち南區は英國勢力範圍とし、北區を露國勢力範圍とす
一、中央砂原を獨立地帶とす
一、露國がカウカズ鐵道をタビツ經由にてケルマンシヤ若くはカニキンに延長して、バグダト線に連絡せしめ得る塲合に至らば獨逸はコンスタンチノーブルよりバグダトまでの鐵道監視權を英國はバグダトより灣口までの鐵道監視權を受くべく、若くはバグダトより灣口までの線は世界的監視の下に置くべし
一、露國は全線監視權なきも商事的利益の發展は認諾せらるべきものとす
一、アフガニスタン、西藏土耳古は現狀維持の主義に則るべし
一、此の協商は獨逸的に結ばれたるものにあらず
一、極東問題は日英同盟の精神を基とす

內容の概畧は右の如くして、近き內外に相エドワート、グレイ氏は此の內容が一層形を帶びたるとき更らに公示して國民の意見を徵するの意ありと云ふ

●露國議會の要求　近着の米國新聞に掲載せる五月十五日及び十六日露京發の報道を見るに彼の勅語奉答案の議事の際は純粹の田舍辯を以て滔々と論述する議員もあれば都人士風の演說口調を以て氣焔を吐くもありて頗る奇觀なりしとなり而して奉答文中に於て露帝に要求すべき事項の取捨及び其程度に就ては熾なる議論ありしが就中左の十項は最も重きを置かれたるものにして之に依て以て議會の政府に對する感情を知るに足るべしといふ

（一）一般の特赦
（二）死刑全廢
（三）戒嚴令及び總ての非常法令の執行を中止する事
（四）完全なる自由を人民に與ふる事
（五）帝國集議院の廢止
（六）基本的國法の改正
（七）國務大臣の責任を明にする事
（八）質問の權利を得る事
（九）國有土地制度を廢止せしめ一般人民に土地を所有せしむる事
（十）同業組合に屬する權利を保障す事

●清國の官制改革　清國の官制が大々的改革行はるべしとは豫て聞き及べる所なるが目下張總督、袁總督、岑總督、兩總督、趙將軍との間に深く協議を重ねつゝありて出洋大臣の歸朝を待ち直ちに新官制を發布する計畫なる由なるが今其內容の重なるものは各省に擡法道、警務道、督糧道、政務道、工商道交捗道の六道台を置き財務司、調稅司、提學司、輸便司、警政司、民政司の六司を設け以て地方廳を直轄とし知府知縣以下の官吏を廢し地方長官には從來の巡撫を任用し總督及將軍中には內閣其他の衙門に轉任する者多かるべしと傳へらる

●韓清居留地條例　露國沿海州軍務知事は烏港に在留する韓清兩國人民の居留地條例なるものを公にしたりとて在烏港本邦事務官より府へ通知し來りたるを以て統監府は此程更に之を韓國政府に移牒したるが其の概要左の如し

一　韓、清兩國人民の居留地を烏港後面に定めたる事
二　韓、清兩國人民の營業は露國官憲之を監視する事
三　烏港に在る韓清兩國人民にして自ら家屋を所有し若くは他人の傭人となるものは烏港內に居住することを得
四　韓　清兩國人民にして露國の監督の下に職業を營むものは烏港の後面地に居住地域を確定する事

●戰利艦の歐航說　目下呉海軍工廠にる艤裝中なる戰鬪艦筑波は來春竣成の上竹內大佐平太郎坐乘內國沿岸を巡航して一般市民の觀覽を許し更に同工廠に於て現に修理中なる戰利艦石見と共に歐州各國を巡統せしめんとの說あり

●學生の風紀取締　文部省一學生の風紀取締上下宿屋改善の必要を認め中學程度以上の學生には父兄の家又は寄宿舍に在るもの丶外は悉く之を一定の公認下宿に收容し其の下宿屋は學校監督の下に男女を合宿せしめざる事他客を宿泊せしめざる事等營業上に制限を加ふると同時に警察をして直接風紀取締を爲さしむる方針なるやに聞く

●閑院宮の御勳績　陸軍中將閑院宮載仁親王殿下には今回の戰役に於ける御勳功に對し將官の初敍としては功三級に敍せられ給ふ御順序なるも殿下には御出征中央の本谿湖方面に於て騎兵旅團を率ゐさせられ敵の左側背を衝きて之を潰亂せしめられ以て我に不利なりし戰況を全然一變せしめ給ひたる事を始めと抜群の殊勳を奏せしめ給ひしこと屢次なるを以て特に功二級に敍せらる丶ことに內定し居るやに漏承る

●大統領と東鄕大將　米國にては是非共我東鄕大將を招待せんとし使者を派遣するに至るべしと迄傳へられたるが大統領は曾て日本海々戰に際し大勝を得たる當時鄕大將に書簡を贈られ親しく大將の來遊を勸誘し來りたることあり夫れに對し大將は余は他日ホワイト、ハウスに於て閣下に謁するの好機あるを信ずと申送りたる約もありて大將の來遊は早晚實となるべく目下其時期の選擇中なりと云ふ

●露軍紀念碑建設の要求　露軍極東總督は我關東總督に向つて露軍が滿洲に於て大敗せし地點に戰沒者の爲め紀念碑建造を許容せられたしとの要求をなし來りしを以て我總督も又ハルビン等に於て我軍人軍屬の戰沒したる地點に紀念碑建設の要求を爲したりと云ふ

●露國論功の混雜　露國に於ても此程より論功行賞に着手したる由なるが我れに於ては戰死者は勿論行衞不明の者さへ一人として判明せざるなきに引換へ彼れに於ては行衞不明頗る多く戰歿者の不明なるもの亦非常に多く論功行賞には取掛りたるもの丶第一是れ等戰死者行衞不明者の調査を爲したる上ならでは實際行賞の運びに至らず戰敗の上に軍事上不整頓の矢態を現し當事者間に大混雜を惹起したりとの情報確なる筋に達したりと

●滿洲守備軍條例　南滿洲鐵道守備軍及租借地守備軍條例は過般來其筋に於て調査中の由なりしが既に審查を終了したれば總督府官制と同時頃發表さるべしと

●東京市の英艦歡迎　市參事會の歡迎特別委員は去る二十三日準備調査會を開きたるが横濱入港の艦隊乘組員は司令長官ムーア中將以下約五千名なるべければ半舷上陸としても一千數百名の多人數なるを以て成るべく圓滿の歡迎を爲さんが爲め二日間に渉り下士卒以下は上野公園に將校一同は芝紅葉館內に於て歡迎開催のことに粗協定したりといふ

●韓國横貫鐵道　（時事）韓國鐵道監部にては統監府設置以前より同國横貫鐵道に就て種々踏查する所あり北方元山より京城に至るよりも平壤に達するもの工事經費並に軍事上凡ての點に利益ありと認められ經費の如きは約二千五百萬圓を要すべしと云ふ

●大連通信　七月一日　刀水生

▲大連の開放　民政署內に組織せられたる開放準備委員會は數回會議を開たる結果方針決定せるを以て其決議案は目下總督府に廻付され在る由なるが福島次長及山座政務局長の來着次第更に一應查察を經直に解決するへしといへは二氏の着連は大連開放に至大の大關係ある事と信しられ候大連に於ける商業上の基礎は此開放以後に於て始めて定まるへきものと愚考いたし候聞く所によるに民政署の所見として別に居留地を設けす雜居制を執ることに決定いたし居るやに承居候想像するに開放後他に先んして領事館を設置すへきは米國ならむ之れに次て英獨佛といふ序列にて開廳さるへきか否歟

▲稅關の撤廢　本日（七月一日）より關東州一般稅關を廢止せり實に此稅關撤廢の一擧たるや民政署か十万圓の財源を犧牲にして斷行したるものにして對芝罘貿易に尠なからぬ影響あるものと信し申候何となれは從來野菜、雞卵、牛等の供給は皆芝罘に仰きて五分稅を課せられつゝありしか本日以後稅金を全廢せられたる結果愈よ芝罘との貿易の更らに一層頻繁に至るへきは勿論に候

▲裁判所の開始　府令第五號を以て關東州審理所（裁判所）條例なるもの發布さる、始審部と覆審部との二審より成る始審部は單獨裁判官を以て事に管掌し民事勸解及ひ民事、刑事の第一審、覆審は內地々方裁判所の夫れの如く三人の裁判官を以て組織する合議裁判なり、而して覆審部は左の事項を取扱ふ、始審部の判決に對する上訴、第一審最終審として皇室に對する罪及ひ國事に關する罪に係るへきものを裁判す、職員名稱は審理所長、審理官、檢察官、通譯、書記等にして民政署職員中より關東總督之れを任すとあり、又審理所長は民政長官の命を受け所務を掌理すと規定されある次第に御座候

●天幕慰問部の閉鎖（つゞき）（神尾少將の謝狀）

予は戰爭の要求に向つては一切の物盡く準備されたることを斷言せんと欲すと雖も尚ほ我が兵卒が野外散髮の方法に至つては未だ全く備はらざりしを承認せざるべからず是れ蓋し我が陸軍組織の然らしむる所なりとす

此の時に當り基督教青年會は十一ヶ所に整一なる方法と組織とを以て適當なる建築を起し集會所音樂室、書籍室、讀書室、湯呑所、散髮所、及び書翰を認むるに便ずるの室をも案配して晝夜を分かたず我が兵卒の隨意出入を許可して毫末倦怠の色なく親切懇篤に無數の兵卒を待遇し健康的の休養を與ふるに鋭意し且つ種々の需要をも充たさしめ以て各兵をして身の万里遠征の人たるを忘れしめたり同時に他の一面に於ては其の書記をして野戰病院を訪問し新聞紙雜誌繪畫等を頒ち以て傷病兵に慰樂を與へ時には教義を說きし安心立命の道を敎へたり其の後ち平和克復され我が野戰軍が凱旋を開始するに迨んでは途中主なる鐵道停車場て樂器を備へ特に新聞紙及び雜誌を頒ちて旅中の鬱を散せしめたり予は確信す基督教青年會の此の多方面に亘りたる事業が我が無數の兵卒をして全然愉快にして補身的の方向に導かれ强大の愉樂を感享しつゝ有害にして不健康的なる誘惑に遠かるに至らしめたることを斯くの如くして我が全軍は甚督教青年會慰問部の同情ある事業に向つて深甚の感謝を表しつゝ野陣を徹して榮譽ある凱旋をなせり此に於て予は亦た此の慰問部の事業に向つて直接間接に其の力を致されたる人々が其の目的の十二分の成功を收めたるを見て甚だ滿足さるゝ所あるべきを信せんと欲す終に臨んで予は本慰問部の事業の光輝ある成功の中に就いて二個の成蹟を舉げて本事業を頌せんと欲す其の第一は我が帝國民の各階級を代表して戰場に立ちし無數の兵卒が神の福音に接着したるにありて其の第二は此等無數の兵員が凱旋歸郷して其の父母兄弟姉妹親戚故舊と膝を交へて彼等が功名を語るとき基督教青年會軍隊慰問部の博愛親切なる事業は必ず其の話頭に上ぼり郷党をして自から基督教の精神に親ましむるに至るべきことと是なり

●福島將軍一行着營　福島次長及び山座局長の一行は愈〻今朝六時十分牛家屯着の列車にて當地に來着せり其の滯在日數は未定なりと云ふ

●銷夏錄　小豁生

花の卷（一）

雪の卷を打切つて今日から花の卷に入ります日々紙上に現はるゝものは天然の花か解語の花か夏の日永に緩々御愛讀を乞ふと云爾

日露戰役の先頭軍團として威名中外に赫々たる黒木軍が東京に凱旋した日である滿都宛から狂せるが如き熱情を以て之を迎へその一行の通過せる沿道各處は到る處人波を打つて萬歲と絕叫するの聲天地も動せん許りであつた。

余が第一軍司令部に在りし時少からぬ黒木閣下の好意に浴し暇ある每に相携へて山に獵し溪に釣るを以て唯一の樂みとしてゐたものだから懷かしさも人一倍であるのでその當日午後一張羅のフロツクコートに威儀を正し少しスタイルの古い絹帽を被ふつて出入の車に乘つて四谷の僑居を出て意氣揚々として青山練兵場を横ぎつて本道を右に黒木邸に向はんとしたのである。

青山御所の邊から原宿にかけて歡迎者を以て充滿してゐて立錐の餘地もない處を辛ふして通り抜けて青山五丁目から左に折れんとしたか、澁谷の方角から來た二頭立箱馬車が一輛丁度その廻り角に立往生してゐて其曳馬の一頭は腦溢血でも起したのかブツ倒れてゐて御者や馬丁か切りと引起しを試みつゝあつた。車中の人は誰やらんと見るともなしに目を注ぐと一人は妖艶花を欺く許りの而も氣品高き令夫人らしいのと一人は其身內とも見るへき相好の奥床しき老媼と今一人は四つ五つの愛くるしい男の子か同乘してゐて余か車夫か「あれが且那澁谷の西鄕侯爵の親御に奥樣ですよ」と言はれて初めて左樣かと頷づいた。

故西鄕元帥（從道侯）の嗣子西鄕大尉（從德）は黒木將軍の副官であるので今しも彼の家族等は新たに凱旋したその老女の方から云へは息子、嫁御寮の方から云へは良人の無事なる顏を見るへく黒木邸に馬車を驅らるゝに違ひないのである。

余は一足先に黒木邸に驅けつけて導かるゝ儘に應接の間に通つた十疊許りのいと質素なる部屋に、僅た今宮中から還へられた老將軍は相變らず洒々落々然として長椅子に身を横たへてゐられて其傍には夫人百子長子某氏及例の西鄕副官が控へて居られた。

將軍は余が一揖するを見てヤオラ長大の躰軀を起しつ莞爾として語らるゝよう「貴公か歸朝つてから後の獵話をしようからマア緩くり話すがよい」と三鞭酒のコツプを手にせられた、余も同時に杯を擧け謹て將軍の健康を祝した後に今度は西鄕副官の方に向直つて。

「將軍が獵の御自慢話を承る前に君に一つ一大事の報告を爲すの止む得ざるものがある」とて通りがゝりの一伍一什を語るや。

「其丈のことか、搆ふものか僕の宅の馬車は君がフロツクコート同樣實は借りものだからね」と流石に故元帥の俤を何處かにとゞめてゐる大尉は時折〻かゝる皮肉をいふのである。僕は少からぬ恐縮したのであつたが將軍が眞先に呵々と大笑せられたので共に笑に壞れて仕舞つた兎角する內に故元帥の末亡人は愛孫の手を曳きつゝ眞先に坐に通られた。其後には岩倉公爵家から嫁がれた令夫人おもはゆげに蓮歩を老將軍の前に移されて閑雅に一禮せられたのであつた……

●編輯より　社中恐るべきもの丶好一對は摩峯の筆と朴捻の笟竹とに候摩峯の筆は由來穩健を以て稱せらる而も往々にして曲筆舞文し無益の殺生を爲すは惡るき癖の徒にて昨紙木莽老を槍玉に上げ可惜社中の名物男を到頭傷者と致し候は寧ろ摩峰の爲めに深く之を惜しみ申候朴捻の笟竹は天眼通なと丶自ら標榜して營口一千の美婦を恐怖せしめ候へとも這次の捻り方にては頗る怪しく二本町の周易判斷所を早く引揚けたるは最も智なりと稱すへく候併し木莽も十年『瓜田不入履李下不正冠』の訓言を誦して計らず不覺を取れるは不德の致す所なりとて一面恐縮致し居り候はしをらしき男に候はずや

上　關內外鐵道　下
東清鐵道
新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、毛
溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、毛
營口發前六、三〇　后九、三五　大石橋發前八、二五　后二、二五
淡谷
本號開設營口東青堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小欞子廿四尺栢木大杆木板此木材出售
西洋服店　歐米各國最新流行形　電話二百
諸鐵工製作
川鐵

天氣
營口地方天氣豫報
自六月廿九日午後六時
至六月卅日午後六時

雜報

●姐さん方へ暑中御見舞　朴捻老

▲お俊さんへ（祇園閣）郵船會社一等乘船券一枚、仄に承る所に依れば來月頃横濱へお歸り遊す由萬一御確定に相成候はゞ郵船會社より一等乘船券差上べく愚老より交渉致置き候間御遠慮なくロハにて乘船なさるべく候

▲お末さんへ（日本館）五葉の松五鉢年増のお前さんへの見舞品にはホトヽヽ愚老も閉口垂れ申候いろヽヽ相考へ漸く思案の末摩耶山丸より到着の上等五葉の松差上候間松のように相替らず該船着港の時には時々船へ一夜泊りの上御禮申上げられ度候

▲峰八さんへ（萬直し）黄金吸收策一冊お年が寄つても流石はお前さんだ日進洋行の御亭主と誤夫婦共稼ぎの御勉强感心仕候最早餘程貯蓄なされ候事とお察し申上候相變らず御勉强の様此書一冊差上候間夜分十二時後差向ひの上誤研究なさるべく候

▲金榮さんへ（金城館）退却策戰計畫論十二冊全部、女將誤歸營後お前さんの態度憶に一變なされたる由就ては近き將來に於て愈々豫ての策戰計畫を誤實行遊さる誤様子此書は其道筋細大洩さず書き置き候間御參考の爲め差上候（まだまだ）

●大弓競技會　去る一日軍政署横手尚武軒に於て催したる全大會は前日來の雨天且其當日も朝來今にも降り出ださん空模様なりしにも拘はらず豫定の時刻には天狗連等二十餘名の來會者ありて頗る盛會なりき今當日の概略を記せんに競技は軍勢射割より始まり順次輪的、三ツ的花的、銀的、金的と各二手若くは三手五手等數番の技を演じ餘興として源平旗取りの競技ありしが就中最も趣味多かりしは花的の命中せし時の如きは恰も時ならぬ花風の吹きしかと思はれたり又銀的金的に至りては當日競技の決勝點ともいふべきものにて各天狗連も儀容堂々頗る嚴肅の態度にて滿場水を打つたるが如き中に最初吉村の銀的命中續いて軍加藤、福本の金的命中したる時の如きは拍手喝采暫しは鳴りも止まざりし右終りて餘興に移り全く散會せしは薄暮過なりし因に今後は月並會を毎月二回第一日曜第三日曜に開催する事とし何人にても入會差問なしと云ふ尚當日の優等者は一等賞福本、二等賞軍加藤三等賞吉村等なりと

●壯俳の料料　兎角評判の能くない營口座伊井一座の連中も一方松榮座岡本美司松一座と對抗出來ざるか近頃は觀客も一層尠なく自然下稽古も棚の上に抛り上げ燒の勘八を極め込み金よりは命あつての物種とやら座員一同早朝から公園散歩と洒落込み只管躰の保養に熱中し居ると見へ現に昨日も早朝から一同打揃ひ公園をブラツキ居りし連中の小川小四郎（廿三）と云ふ先生例のギリ（一枚）ある筒袖に黒襟の掛かりし着物に女の細帯を締め平氣の平左で大道狹ましと濶步して居る所へ其筋の憲兵に咎められ引致の上領事館に送られ大枚金一兩の科料に處せられ貧棒の上塗りをしたと愚痴を溢して居るゲナ

●拾得品　一昨二日午后二時頃河北より舢舨に乘り當地に來りたる日本人中該船中へ肩懸一枚を遺失し行きたるものあり船夫より水路分遣所へ屆出でしに付目下該品は西分遣所に保管しありと云へば心當りの者は至急同所へ申出べしとなり

●松榮座　同座今晩の替り狂言及び役割は左の如し

藝題（前狂言、今文覺不動文林　切狂言、御所櫻藤彌太舘）

役割、下郎熊造、萩原良作、磯野善治（小春）林之助、おつな、今柄（小利喜）女房お柳、靜（美司都）娘たき（小かね）不動文治、道具屋吾助（高助）庄屋作平、娘お咲、しのぶ（美司八）用人吾太夫、文治老母（春吉）坪内慶十郎、清太童子、藤彌太（愛助）

廣告

移轉並に新來美形　廣告

拜啓追々暑さに向ひ申候處各位益々御清榮奉賀上候從て弊樓儀今般春帆樓支店跡引受け料理萬端諸事改良御手輕御清遊に適する樣店員車輪大勉强仕候尚內地より美形數人參り申候間何卒舊に倍し新來美形と共に御引立あらんことを乞ふ

營口平野町元春帆樓跡
月　日　都樓　坂本ちか
御各位樣

滿洲第一湯崗溫泉
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
○營口—大石橋—○—海城—○—湯崗溫泉全停車場—○—遼陽—○—奉天○

靴製造並に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ　桑田靴店

御披露
小亭義皆樣の御引立を蒙り日に增し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓一名及仲居を呼寄一層勉强仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尚夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候
月　日　元神廟街　翁亭

▲競賣廣告▼

品目	
甘藷	二十三萬九千五百貫餘
馬鈴薯	三萬四千九百貫餘
紫蕨	一萬四千七百貫餘
切布	一百貫餘
若布	三千〇〇貫餘
干混牛蒡	一萬七千七百貫餘
高野豆腐	四千二百貫餘
切干大根	二萬二千三百貫餘
蒸姑	三百貫餘
人參	三百貫餘
糸若布	七千七百貫餘
南瓜	一萬三千七百貫餘
割菜	七千三百貫餘
ホミニー	八百貫餘
不良重燒麵麭	四千〇〇貫餘
不良精	六百石餘

以上入札保證金は各自見積價格の十分の五以上とす
右競爭入札に附し賣却す入札望の者は七月一日より七月十四日迄の間に於て關東陸軍倉庫營口支庫に出頭し入札心得書契約書案現品等熟覽の上七月十五日午前第拾時迄に同支庫に入札書差出す可し即時開札す
此の契約締結は關東陸軍倉庫營口支庫長金子義友担任す
明治卅九年六月三十日　關東陸軍倉庫

和洋御料理　會席
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位樣

滿韓境上唯一樂園　五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滿タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

上海　中井洋行　專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書精各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連畫其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

土木建築用諸木料
板硝子類
マソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口靑堆子綏定門外　志岐組　商業部

會席料理　營口警務課前南に入る　三日月

一漁船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第二市場より西へ入る
遼河運輸　同濟公司

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
全身魔醉。局處魔醉。嶄新器械。無痛手術。
梅毒○婦人科○外科○胃腸病　專門
日本醫院

廣告　公
一各國洋服地一切大勉强可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ
元神廟街日營貿易筋向ヒ　寶泰祥
營口元神廟街東　福興洋服所

濟生八方製造發售廣告

啓者敝社長山田氏夙爲衛生起見詳查日清韓人之体質博探東西古今之神秘研究多年始得左開八種之靈藥于茲同志相集豫備資金一十万元創立日華製藥合資會社即經官准現將本社開設於營口永世街甲一六六號精撰藥材留意製劑自造所發明之濟生八方克已從廉專向日清韓各地方出售且卜要地設在分舖或寄售處以期衛生之治及而圖十劑以上則爲躉賣特行折價切盼中外貴客監其誠實無欺藥效亦異尋常陸續賜顧是荷

仁　爽快丸（芳香淸涼驅邪避瘟誠是常備之靈丸也　立消飲食之毒兼淸口內即是食後之要劑也　忽去口內惡臭能美音聲最爲接客之佳品也）

義　腸胃散（健胃固腸速化飲食眞是天下之靈散也　縱雖多年難症服膺數次無謂未曾全癒　則爲小兒下蟲之特效藥其名嘖々于世）

禮　婦女散（不論各般常症並胎產諸患靈驗如神所謂婦人專用之妙散也　凡婦女已迄妙齡之後須備此藥常爲袖中之至寶）

智　鎭腦散（專鎭頭腦並和神經藥效顯著誠是未曾有之奇方也　快通大小二便以解秘結而和腹內最爲古今之良劑也）

忠　消熱丸（消散邪熱立使心身舒暢神效偉大眞是必携之靈丸也　縱雖危急熱性當其初期取用靈應不誤立以全治）

信　掃毒丸（專治楊梅瘡毒以及一切毒瘡紓力無比眞可驚之秘劑也　特有掃盡小兒胎毒瘡恰似霜風吹枯葉之奇効）

孝　淸明水（專治各般眼疾之靈水不論輕重一經用過立有靈驗盲者復明　能適一切耳患之神液不拘久暫一過點用奏效異常聾者再聽）

悌　瘡傷膏（專治瘡傷等身面諸疾之妙膏即一擦用應效立著痛癢忽止　又遇蜂蠍叮螫等諸虫毒宜將此膏擦敷患處嫉痛立治毒氣悉散）

營口永世街甲一六六號　日華製藥合資會社　敬白

營口三友洋行雜貨部廣告

新荷着
高等化粧品各種　新柄ネキタイ
旅行用鞄及靴　氣發油ランプ
新形夏帽子及鳥打帽子
雨合羽　長靴　姿見鏡各種
四季造花
御婦人用小間物

●日本石炭新荷着●
多少に係らず御用仰付られ度候
綏定門街　電話百五七　新玉倉庫

和洋諸雜貨　食料品卸小賣　各種賣藥卸小賣
奉天小南門ノ後　中越洋行　中越大藥房
但シ賣藥部ハ隨時診察ニ應ス
尚以後吉林長春ハルビン地方へ御越シノ方有之ノ上ハ御示談申上度義有之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

●松岡病院
內科　外科　眼科　婦人科　診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五一番）

店頭陳列 つり切

七月三日より十五日まで
第二回夏ものの荷着大賣出し
從來の通りくじ行景品を呈す
永世街 (キ) 木村呉服店
(電話八十八番)
(營口西北街)

石材 石灰 大販賣
英洽洋行
(電話三二)

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道 遼河 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール 日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋鑵詰、食器
內外煙草、葉卷
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
卸並に小賣
彩票
每月 大連 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーフル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醬油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
營口西北街
(石) 石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

新荷着
裝飾用簾 洋食用品 肉碎器 秤卅六貫以下種々
手提金庫 コッピー用 附屬品
(電話五號)
窓掛及附屬品 夏帽子各種 戶田式濾水器 宇治新茶
ワイシャツ及カラー 學校用文房具各種 各種複寫簿
關東公司雜貨部

氷
發賣元
營口元神廟街成功號三階(電話一三四)
田庄臺大盛貯氷公司販賣部
特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口永世街 衛生軒
營口第二市場前 松木氷室
營口二本町 丸山氷室
營口永世街平野町角 山田氷室

資本金參拾萬圓
日清合股
(昌)
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運(與大清通運公司連接)東清鐵道沿路極要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧務祈貨客親自到本館房及各處分局賬房面議爲荷特謹白倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

醇良日本酒
サッポロビール
孔雀印平野水
大販賣
和洋雜貨 洋酒化粧品 酒類 食料品
千賀洋行 奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店 奉天小西關大街路北

諸毒下し
毒掃丸
一名 一ヶ月丸
梅毒そう毒しつ毒胎毒よこねかんそう其他諸毒又のぼせ頭痛手足に腫物生し困難なる人一日も早くためし見よ
輕症八二三週間重きも一ヶ月間ふて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り
大日本帝國東京市 山崎帝國堂大藥房製劑 毒掃丸
本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、痔瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一悞若無病之人常服本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也
●定價四日份 三角 ●一禮拜份 五角
總經理批發
營口永世街(司法部前)
回天堂三木大葯房
(電話百九十番)

新荷着
▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹、疊
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

廣告
高麥酒スペシャルライト等
スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尙夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
滿洲一手販賣店
營口元神廟街 關東公司雜貨部 (電話五番)
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

軍政署登記濟
正隆銀行 (電話二百十番)
隆記洋行 (電話二百十番)
凡人擧氣相投者則晤晤無分事理通達者則中外爲一茲有日本友人深水十八君老成練達長於理財先曾在正金銀行執業多年不但言語風情無不熟悉且於銀錢之調度尤能精通微等與之交久深知其爲人因集銀十六萬圓開設銀號名爲正隆一現時先湊一半作爲有限之責深水君爲總理彼任無限之責一切匯兌存欵借貸等情皆可通融格外克己中外紳商光顧者請駕臨是幸 東殷謹啓
本行は資本銀十六萬圓現拂込金額に對する有限責任にして日本親友深水十八君を聘し無限責任社員として行內萬般の事務を支配せしめ今回其二分の一を拂込を以て開業仕り早朝より夜半迄執務預金、貸付金、爲換其他銀行一切の事務取扱ひ殊に長崎、神戶、大阪、東京、横濱、上海、天津地方には日本の銀行と引合有之候間爲換御取組には至極御便利かと存候尙ほ詳細の事は御來行の上御問合被下度候
天は自ら助くるものを祐く 涵養省察
本行係正隆銀行總理人深水十八創立開在東營口西北街第二三〇號代客專辦出口餅、油豆等所有上貨進口新様機器東洋大宗各色貨物誠實無欺格外從廉士商賜顧者請到櫃上面議 本行主人敬白
小生儀今般上記名を以て豆、豆粕、豆油其他の輸出品及各機械並日本品各種委託賣買業を開始候に付きては多少に係らず續々御注文被下度尤も手數料の如きは可成低廉に專ら誠實を以て旨とし永遠に御取引相願度候
東營口西北街第二三〇號 支配人 深水十八

開店一週年大賣出し
六月二十五日ヨリ 七月十日マデ 正札一割引
東京新形浴衣地
吳服太物類
化粧品小間物類
陶器類食料品類
日用品雜貨類
永世街第二市場東
石原商店

宮門抄

初八日

刑部　都察院　大理寺　廂紅旗值日無引見　成章因伊子補主事謝恩　溥　請假十日　前山西學政寶熙到京請安並謝恩　文炳預備召見　順天府奏京師得雨四寸有餘

召見軍機　文炳　寶熙

皇上明日卯初二刻至大高殿行禮畢還海

奏議

江寧將軍誠奏考查寧防各項新政妥籌整理情形摺

奏爲考查寧防各項新政妥籌整理大概情形恭摺具陳仰祈

聖鑒事竊奴才恭承

恩命留守江寧到任以來檢查檔案諮訪寅僚夙夜兢兢冀效尺寸庶竭壤流之助而酬高厚之恩伏查江寧爲東南奧區防守事宜重於他鎭自承平日久駐防兵丁積疲已甚生計又窮玩愒相循漸成游惰迭經前任將軍信恪等先後整飭旗務改觀比歲以來風氣日開精神漸振正宜乘機利導化弱爲强顧旗員格於權限籌欵維艱以故各項新政雖具規模卒難展布第念八旗子弟忠義性成處此物競之秋宜爲自强之計現在庫藏窘迫惟就已辦各事先其所急量加整頓徐俟擴充連日與副都統振格妥愼籌商最要之事約有二端一日興學校查寧防自前任將軍永隆創設各學堂及習藝局撥欵開辦氣象互變奴才到任後逐加考察計營內已設者開通學堂一所淸文學堂一所蒙學堂八所教授均尙認眞但爾時締造之初事事尙從簡略教科程度亦有未合亟宜查照新章重加釐訂查開通學堂額設學生六十名除已咨送省城各學堂暨出洋肄業共三十二名外補入新生程度參差將來畢業未能一律擬飭另訂妥章俟本堂分數合格再行咨送以免躐等再八旂原設騎射槍場各一所現在停止習射而武事不容或緩擬仿武備學堂之制酌量併改令習新操俾資造就並飭試辦女學堂一所爲八旗幼女立養正之基此外課程規制應如何增損之處俟籌有的款再行酌辦以求完備此整頓各學堂力籌推廣之情形也一日改營制查寧防營制自前任將軍信恪改練常續爲三百二十名復經前任將軍永隆將巡警軍重加挑選改爲一百二十名分駐六棚設卡邏守其常續備軍尙仍其舊業經先後　奏咨在案並由北洋選派教習來寧教授營務改良惟按之現在新章率多未合自應酌量改編以歸劃一查練兵處章程各省駐防將軍本與督撫同有督練之責誠欲修明武備必須練成鎭協無如寧防大小甲兵僅止二千餘人除開散養育暨學堂藝局挑赴北洋分投撥遣外汰弱留强所餘無幾奴才再四思維與其多而徒事鋪張不若少而力求精銳當與副都統振格悉心商榷擬即遵照變通制略內裁三分之一四分之一新將甯防原設之兩營先行併練常備步隊一營挑選足額以爲基礎其督隊官隊官排長等悉照定章分派並擬將京防之常續備軍一律改編俾成勁旅其餘兵丁或酌練陸路炮隊或改爲巡防隊老弱不合格者令入藝局以事工作更擬就旗營務處遵章改設督練處爲總匯之區總期兵歸有用餉不虛糜俟將營制餉章通盤籌畫酌定規制後再行具　奏此考查營制籌改大畧之情形也惟是練兵興學固目前切要之圖而學堂則添聘教員建造齋舍購辦書籍置備儀器及練軍應用之操衣槍械背帶水囊等項在在需欵仰屋徒嗟現擬就已著各欵變通撙節先從寧防入手以次及於京防其有萬不能緩而力實未逮者隨時商同督撫臣設法籌濟一面清查牧場舊址年久被佔或侵肥在下者實力整治以資補助現惟屯墾一事畧有端倪查接管卷內安徽太平府屬萬頃湖牧場改爲屯墾經前任將軍信恪等　奏惟派委江蘇補用道徐廣陞設局開辦三年以來舉凡清丈田畝招集公司開挖溝渠增置隄堰建造廠屋均已次第告成奴才詳加訪察該處田畝業已陸續放墾募民承佃經營數載明效漸彰當飭該總局將已墾未墾田畝清册收支欵目租穀租錢實徵數目暨湖場水草花息工程保固年限承佃花戶姓名先行分別列册造報到日另案具　奏其在事出力各員俟全工告竣再行遵章咨部立案一面飭將未盡事宜認眞趕辦以期早收成效藉助振興庶政之資此外利弊所在容當會同副都統振格京江副都統奎芳等和衷商辦悉心考察務使官民兩益共濟時艱以仰副　朝廷振興庶政實事求是之至意所有奴才到任後考查各項新政籌辦大概情形謹繕摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒訓示再奴才俟寧防各事粗有就緒即馳赴京江考查一切合併陳明謹　奏奉

硃批該衙門知道片併發欽此

中外要聞

●電催提調到京　政治館之設專備編輯出洋大臣考求之政治日前已派山西學政寶熙湖南道台劉若曾爲提調現因出洋考查政治大臣到京之摺件甚多有待編輯故昨由政務處分電寶京堂與劉觀察速行到京

●浙路收股踴躍　浙江興修本省鐵路一事茲聞浙省同鄉京曹現在京師設立事務處一區以便收授股銀刻已擇在虎坊橋杭州館內並公舉章太史總理其事聞近日交股者異常踴躍

●准滇設造幣分廠　戶部前曾奏定除廣東福建江南直隷湖北等省設立戶部造幣分廠外其他省均不准設立以示限制近日雲南省再四請設分廠造作銅元而政府以該省邊遠轉運不便故准其暫行設立聞定以三年爲限俟三年期滿即行奏裁

●電催西北邊餉　聞日前戶部堂官諭飭司員查明各省應解光緒三十二年西北邊餉除已解到及咨報到部者不計外應即電催各省趕速籌解勿再遲緩以應要需

●吳侍郎有補贛撫之說　昨聞政府王大臣議及近因江西地方匪黨不靖種種待理應行奏保倉塲侍郞署理江西巡撫吳重熹實授贛撫之任以專責成而資治理

●廣西士紳籌議自辦鐵路往覆各電　四月初三日發京省同鄉官電稿　廣州岑宮保于學台鈞鑒日本留學生倡議自辦廣西鐵路計達鈞覽事關闔省命脈遲恐生變同人感奮即日捐得招待費千餘金擬邀各府士紳至潯會議能否如此辦法乞電示　潯州學務紳董同稟江　北京同鄉官江蘇唐學台貴州岑撫台穗城同鄉學會各電文同

▲四月十一日奉岑宮保覆電　潯州學務紳董江電具悉公義惟事關全省似應遴赴省會議集思較廣且可資官力以贊成更屬有益煊魚

▲四月十三日奉江蘇唐學台覆電　潯州學務紳董此事請示雲帥及諸同鄉商辦崇

▲四月廿四日奉貴州岑撫台覆電　潯州學務諸君同鑒江電敬悉此事自以自辦爲急務諸君慨捐招待費會各府紳耆集議高義良堪欽佩惟事關全省應預爲籌畫之事正多尤以籌欵爲最要而又極難似應順至省會議則集思益宏且得官力運助高見以爲何如賁效

▲閏四月初一日再稟岑宮保電稿　廣州岑宮保鈞鑒魚電遵辦惟南太以上距省太遠擬先集潯再由各府公舉代表赴省會議乞先電達省垣各憲飭知桂紳潯州學務紳董同稟東

▲閏四月初四日奉岑宮保二次覆電　潯州學務紳董東電悉已電撫帥幷兩司桂林府查照飭知桂紳矣督冬

●粵督電桂剿匪　廣西各屬匪蹤尙多已誌前報茲悉粵督岑雲帥近日疊接政府來電催飭速剿因於日前電致桂撫林中丞略謂潯梧匪氛尙熾不迅速剿辦撲滅淨盡終爲後患龍道濟光（按龍係實缺左江道）日前來東已面授機宜催速赴潯督剿梧州平樂兩屬責成王道芝祥（按王係實缺桂平梧道）周歷巡緝應請加札委派王道龍道會同辦理潯梧平三府軍務隨時指示機宜催速廓淸以竟全功云云現林中丞業已轉飭兩道分別辦理

●議准湖南開賑捐　湖南巡撫龐鴻書電奏因湖南本年水災被淹州縣甚多災黎流離待賑孔殷賑款無多不敷周濟請開辦賑捐並常例七項捐輸限滿一年即行停止以示限制等因奉　旨交戶部議奏現戶部會議允准已覆奏奉　旨依議矣

●美對於舊金山華僑建棧事　美國金山埠地震爲災後由該埠官憲對於所有華僑一倂不允再築屋宇一節茲聞美政府照會駐華欽使向中國政府聲明金山埠禁華僑居留固非政府之眞意唯因災後荒涼俟劃定街衢整頓一切之後再允華人建棧蓋此事不獨對于華僑惟然即對於美人歐人與列國人亦無不然也聞外部對於美政府照會頗形滿意

●擬允王中堂開缺　王文昭中堂請假已數月養病迄未十分健痊上月奏請開缺未蒙允准茲聞中堂於明日假滿仍擬具摺奏請開缺據樞府消息亦有允准王中堂開缺之意日內可見明諭

●吉林續購槍械　探聞吉林將軍電商北洋大臣略稱解往吉林之槍械及餉銀委員押運行至昌圖府二道溝附近倏遇大幫鬍匪將餉槍搶刼將護餉之兵丁槍斃二名委員亦受傷迨報由昌圖府派兵往剿鬍匪已無踪跡除電奉天將軍嚴緝該鬍匪外擬在津再購快鎗二百桿以濟急需

●萬國弭兵會議　萬國於海牙府開催弭兵會議一節已決定緩期開議

●俄軍隊叛　俄國軍隊現又謀叛

●俄新政府之組織　傳聞俄國議院議長稟請組織新政府一事須由議院占有議員多數者組織

●南威爾斯地震　英國南威爾斯地方地震頗劇屋宇震毀所有居民一時頗形危懼又於斯晚塞斯、紐何爾杜、喀基布及其附近村落等處所有煙筒一律震毀墜積於路居民受傷者爲數不尠震毀家產尤甚

●英外相對埃及案之申明　英國急進党議員數名向外相克列君稟請對於埃及人戕斃英將士一案毅期正法並由外相申明予關於此事毫無干涉之權利也每日報云外相電飭南菲總督克羅馬公爵報明詳情又急進党報云埃及一案執法嚴峻並云議院以政府諸公有保留權利爲適宜之策並非妄議云

雜報

●自取其辱　有一裏省販梨客人吳姓者性好游花迄今業逾見惡之年而猶嗜花街浪蕩前日游於陳妓館中適一少年先在而綢衣窄袖頗類靑皮係妓之表弟其母少年時亦業勾攔茲其母老而洗手該子不甘爲元緖公後奮立志創人而吳於該子盤詰年甲姓氏知爲某老妓之子向與其母有交因向賣情曰昔我曾由爾母門前經過爾母將我邀入室中頗加優待我並請爾母吸洋烟數次又借給銀洋若干云云少年聞之勃然大怒曰自古子不能捉母姦爾何故當面辱我即暴批吳之兩頰流血溢齒旋有多人勸解責吳不是吳始乘間遁去云

●土工苦狀　昨聞埠民傳說有二道溝修築鹽沱衆土工等來埠紛云我等由作土工二月餘僅與飯食不給工價有大工頭有小工頭據大工頭云統計大櫃共欠衆工價合銀洋三萬數千餘元屢次請領此錢奈司管大櫃之提調某君一味支吾搪塞前後統給銀洋數千元尙虧欠三萬元並無日限於是衆土工等皆日坐食而不操作益忤周君之怒前數日來有巡警營兵十餘名捉拏小工頭四五名暴加捶楚數人均負傷甚重云

●誘拐孩鐲　關帝廟東張姓之小兒年五齡前日近午出向門前游玩腕帶双鐲每一兩重越頃張尋子不見駭向四處尋覓乃於揚武門西北僻處瞥見獨立於彼若惘迷然近前視之右腕隻鐲被人拐去手握銅錢三十枚問子乃曰一人給我腸食甚甘美引我至此買腸將鐲去換多時未回云云以五齡孩提帶鐲獨出何異慢藏誨盜有子女者宜加意防護云

●商業滯塞有由　昨聞有久於商務之某甲於市塲演說滿洲商務百貨滯塞之由實起於客歲九月間俄人窃用機心乃該國商輪向上海載運百貨赴海參威腳費稅費一切從廉且無貳徵非若由上海載向營口再轉往他處逢卡抽捐逐埠納稅以彼較此再加船腳之廉減省不啻數倍是故烟臺庄上海庄及他庄等全行販往於海參威處分向江吉兩省哈爾賓等處貿遷比較南去諸貨皆廉所以營埠由春至夏以來百貨遲鈍少有北客來販職是故耳

●河蠶禍村民　河北利科村有某少年等月前因戕河蠶致漲海水浸淹村田甚多已載報端昨由該村所來人云戕蠶之子由是即染怪症晝夜嗷嗷譫有人來向索命云云今已雞骨支床狀幾類鬼恐將來不能免矣且由漲水後迄今未全退消常有小蠶四五穿溝穴渠竟無定處無論塲圃牆垣院宇等處驟陷巨坑水由下漲倉廩糧穀時被冲沒而水鹹若滷淹沒腴田盡成墟斥時而街路擁出尺餘淤泥舟行莫濟車行滯輪步行尤難跋涉該處居民大爲憂患云

●因疫封門　昨日傍夕關帝廟西北巷內有孫得鳳烟館院裏病故一人蓋經東醫查驗係屬疫症因將該門封閉禁人出入外有多人立視一人曰今晨西妓巷內因患疫病封一妓家之門此處又封一門殆必有瘟疫矣當此暑蒸之際時疫流行易於傳染願埠內人民務須愼重衛生免遭疫癘云

行
山海關發前八　塘沽同后二、一〇　四、一〇　天津同　一一、〇九　六、二五
天津發三、四　著三、二四　五、五五　塘沽同后三、三〇前一〇、四五
北京　着六、四五　山海關著　六、一〇　六、二一
大石橋發前　南關嶺后　九、〇七　大連着同　九、五〇
大石橋發前　奉天同后　鐵嶺着同　開原昌
局　淡谷木廠　永世街一四一（森病院三軒目）
土木建築用鐵材料　對外鑄物諸般
門會街東　喜所
報務
昨日の氣溫　最高溫度八十四度　最低溫度六十ヵ度

爲替相場（七月三日）

日本向 百〇二圓二十五錢（一覽票百圓に付）
上海向 七十一兩八分ノ三（同）
天津向 一百三圓六十二五錢（香港弗百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行

紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 一全 七圓五十錢
一全
一狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢
百枚 十三錢以上十八錢
室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一薄緣 十枚 八圓
一麻緞通 一疊敷 三圓
一綿緞通 全 三圓五十錢

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 料理 元神廟街九十六號（電話八四番） 第一營口ホテル 第一樓

料理 永世街百八十三號 入船亭 谷初次郎

料理 營口永世街 一力 店主 堀万助

旅館 河岸通り 日營ホテル 店主 井上源吉

料理 永世街八十六號 東京館 店主 村上京四郎

旅館 營口新市場前（電話一八七番、四番） 東京樓 店主 熊田兼次郎

旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程 東茂旅館

料理 元神廟街百三十三號 千鳥 店主 吉住善藏

料理 永世街百六十四號 沖の島 店主 中川彌三郎

料理 永世街八十六號 吉野亭 店主 坪田正好

旅館 西北街（電話一四五番） 高砂ホテル 店主 片山小みつ

料理 營口元神廟街 樂々亭 店主 武部貞

旅館 永世街三十四號（電話十一號） 大和館 店主 前田九一郎

料理 營海門街第百〇四號 萬梅 店主 田島彌助

料理 永世街字二本町三百千九号 まんなをし 店主 和田常松

和洋料理 南永世街 公樂園

料理 營口平野町 喜樂亭

旅館 永世街七號 東雲旅館 店主 谷口今朝太郎

料理 旅館 永世街百二十七號 醉花園 澁谷旅館 店主 澁田留吉

さるそば 第一更科 營口元神廟街 第二更科 永世街橋の袂

和洋料理 營口元神廟街一四三号 松月亭 店主 住松信太郎

料理 平野町 都樓 店主 阪本ちか

旅館 營口永世街一六五號 品川館

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿 奉天小西關大街北側 瑞豐館 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 奉天小西關大街北側 温泉付大勉強キレーヂフライシヒ 天神樓（電話 號）

旅館料理店 奉天小西關大街南側 日盛館 館主 入江熊男（電話 號）

旅館 料理店 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 梅松館 館主 押尾富次郎（電話 號）

御料理 奉天小西門より一丁西の辻北入 梅ケ枝 館主 辻井ムメ（電話 號）

高等御旅館 奉天小西關大街路北 茂林館（電話二十五號）

旅館料理店 牛肉すき燒 雞肉 奉天小西關大什字街南へ入 日章館 日章亭（電話 號）

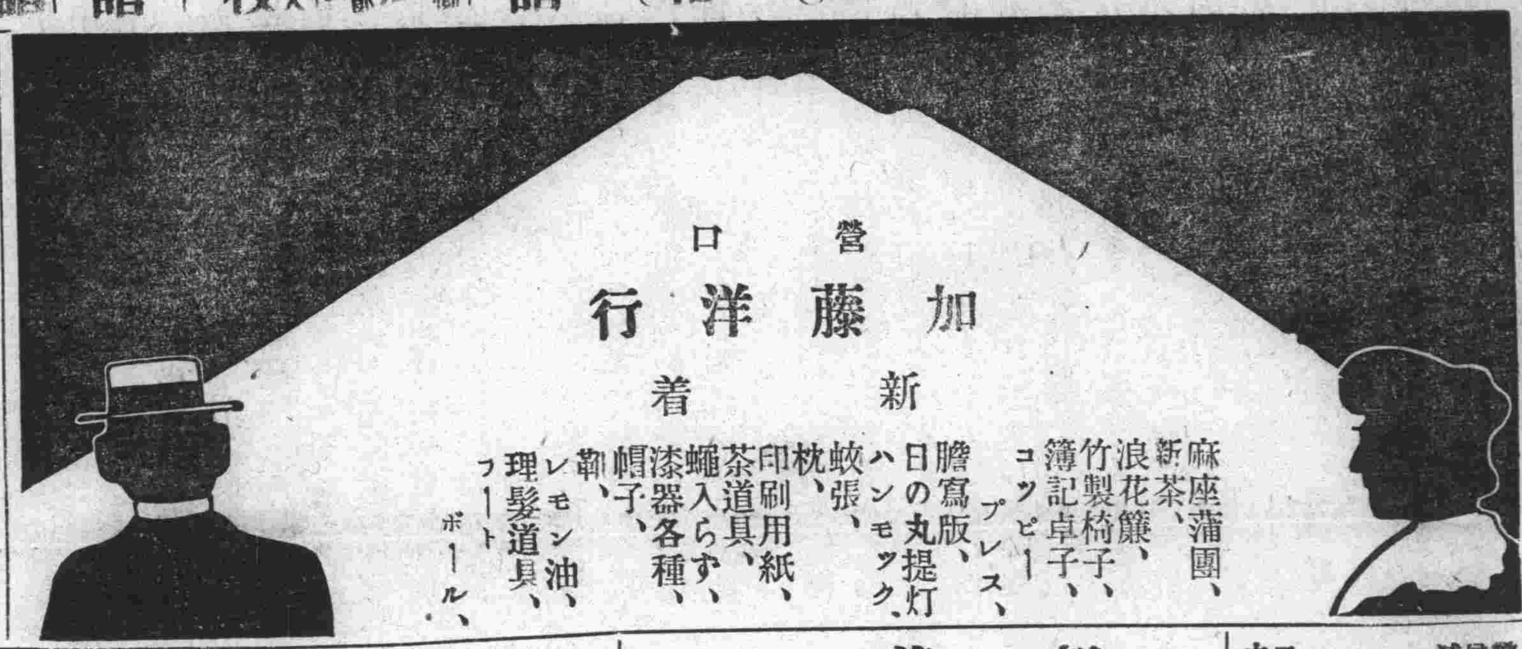
御旅館 奉天小西門外大街路北 瀋陽館

さるそば 營口支店 奉天小西門外金城館前 更科

御定宿 奉天小西關第五分局八〇一〇號 第二東京館 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主とし て旅館を專業に單ら御客樣の御便利を斗り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 料理店 奉天大西門際 新日奉館 館主 濱田アサノ

御料理旅館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 扶桑館 館主 堀田ハル 電話 号



◉煉瓦發賣
上リ竈ニチ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行煉瓦製造部（電話九十番）

和洋御料理 高等 遼陽城內東街六八九號 遼東館 電話 號

御料理旅館 三河樓支店
弊館は、奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本風の二楷造家屋新築し樓上等々暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上
樓主 川上總吉

一週年の祝意 寫眞定價半減 木村寫眞館

弊館爰に一週年之祝意を表する爲め何か面白き趣向を以て御得意樣の御愛顧に報じ可申と存じ候處時節柄とて差控ゑ更に突飛の勉强をなし薄利にして勞力を惜まさるの考にて寫眞定價も半減となし艶麗にして巧妙なる寫眞を御寫し申上候間天氣の晴雨に不拘續々御來寫なし被下度候
七月五日より八月五日迄
二に兼て此の技に敏腕にして熟練なる村田寫眞師を招聘なし器械の豐富は申二不及館主一同協力嶄新なる技術を奮て御寫し申上候

新着

金升洋行 盛進商行

土木建築並ニ測量設計請負

營口靑堆子綏定門外 志岐組

輸出組合 日本官煙專賣處廣告

江副洋行及代々木煙公司の儀は從來合同營業として日本政府製造煙草一手販賣の特許を受け露領へ輸出致居候處今回之を擴張して輸出組合を組織するの認可を得更に滿洲地方の各營業をも合同致候上大連安東縣營口遼陽奉天鐵嶺の各地に日本官煙專賣處と稱するものを置き專ら華客の御便利を圖り誠實廉價を旨とし營業仕候間倍舊御引立被成下度奉願上候敬白

兩切紙卷煙草
一ロングライフ 一リリー 一チエリー
一スター 一ゴールデンバット 一オリエント

口付紙卷煙草
一朝日 一大和
一敷島 一ほまれ

刻煙草
一福壽草 一白梅
一さつき 一あやめ
一はぎ 一もみぢ

代理店所在地
旅順口、金州、蓋平、新民府、昌圖、鳳凰城

本號係代々木煙公司江副洋行兩號合辦。現開設在大連安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺等處。專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）嫣禮（軍旗牌）隆估來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳人巴德（蝙蝠牌）第九種及煙絲福壽草、白梅、杜鵑花、菖蒲、胡枝、紅楓、等六種。蘭馨佳馥、不啻品色結佳。甚適衛生。而價極廉。均已馳名。大方士商賜顧者。請光臨本號或經理。面議可也。此仰

代理店所在地
旅順口、金州、蓋平、新民府、昌圖、鳳凰城、

營口河岸通（舊代々木商會跡）
日本官煙營口專賣處

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 80 cts. per month. 4 cts. a copy

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙

和洋 御旅館 御料理
奉天軍政署指定旅館
奉天城內鐘樓南大街
奉天館（電話十四番）

日清倶樂部
奉天城內大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造 西洋洗濯
靴製造 日本大工
理髮 裁縫

氷卸小賣所

御料理 本店 奉天小西關新來當街々 金城館（電話十九）

御旅館 奉天小西門街大什字街 金城ホテル（電話二〇）

御披露

追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御清榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ新に江戸生粹の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方樣には一入の興味を感ぜらるゝと存候樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼旁あつさりと晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散步の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理 支店 營口永世街 金城館（電話八三）

御旅館 支店 營口永世街 金城ホテル

御料理 支店 大連市吉野町 金城館

御旅館 支店 大連市吉野町 金城館

古料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主 青木勝惠